

事務事業チェックシート

事務事業No 104 事業名 わかやまの底力・市民提案実施事業（市民が公益的の事業を企画提案し、行政と協働で実施）

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	10	地域コミュニティの充実
施策	1	地域コミュニティの充実
取組方針	2	市民公益活動への支援

事業種別	継続		
事業期間	H17～		
事業実施の根拠法令	わかやまの底力・市民提案実施事業選考委員会条例及び実施要綱		
関連個別計画	協働推進計画		
担当課・担当課長・Tel	市民協働推進課		402-1213
関連課			

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	市民生活費		
	目	NPOボランティア推進費		
	大事業	NPO・ボランティア推進事業		
	中事業	わかやまの底力・市民提案実施事業		

1 事業内容

事業目的	（「誰・何」をどういう状態にする）ための事業か 対象：和歌山市を中心に活動しているNPOやボランティア団体等の市民団体 自発的に活動している市民グループからの企画提案を募集し、行政と協働で実施することにより、市が抱える社会的課題や地域課題の解決を目指す。		全体事業概要 公益的な事業について、市民グループから事業提案を募集し、選考委員会で採択された事業に対して、事業実施に必要な経費の一部、又は全部を交付金として助成するほか必要な支援を行う。				
	事業内容	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	各課から行政課題を募集してテーマ部門と自由部門を設けて、市民公益活動団体から企画提案を公募する。	各課から行政課題を募集してテーマ部門と自由部門を設けて、市民公益活動団体から企画提案を公募する。	各課から行政課題を募集してテーマ部門と自由部門を設けて、市民公益活動団体から企画提案を公募する。	各課から行政課題を募集してテーマ部門と自由部門を設けて、市民公益活動団体から企画提案を公募する。	各課から行政課題を募集してテーマ部門と自由部門を設けて、市民公益活動団体から企画提案を公募する。	各課から行政課題を募集してテーマ部門と自由部門を設けて、市民公益活動団体から企画提案を公募する。	

2 事業コスト

事業費等（千円）	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	7,627	6,094	6,876	2,278	4,955	3,203	4,711		4,711	
伸び率(%)	-	-	▲9.8%	▲62.6%	▲27.9%	40.6%	▲4.9%	▲100.0%	0.0%	-
人件費	正規職員	10,979	11,237	11,643	11,491	11,740	11,893		11,893	
	正規職員以外	675	714	707	833	813	778		778	
	小計	11,654	11,951	12,350	12,324	12,553	12,671		12,671	
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他										
一般財源（税等）	7,627	6,094	6,876	2,278	4,955	3,203	4,711		4,711	
所要人数（人）	正規職員	1.48	1.48	1.46	1.45	1.47	1.49		1.49	
	正規職員以外	0.38	0.38	0.38	0.40	0.4	0.38		0.38	
主な予算内訳	市民提案実施事業交付金4,500千円、附属機関委員報酬168千円 等									

3 目標及び実績

指標名	単位	種類	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
活動指標 メディアを通じた広報手段	種類	目標値	6	6	6	6	6
		実績値	6	6	6		
		達成度(%)	100.0%	100.0%	100.0%		
活動指標 協働懇談会の開催回数	回	目標値	1	1	1	1	1
		実績値	1	1	1		
		達成度(%)	100.0%	100.0%	100.0%		
成果指標 提案事業の数	件	目標値	30	17	10	10	10
		実績値	16	7			
		達成度(%)	53.3%	56.7%	70.0%		
成果指標 事業実施後の協働事業に対する満足度	%	目標値	100	100	100	100	100
		実績値	86.25	93.33	76.66		
		達成度(%)	86.3%	93.3%	76.7%		

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>毎年、観光振興や子育て支援、まちおこし等に関する様々な試みが生まれていて、和歌山市を活気づける有意義な事業だと考えるため継続は必要である。市民目線の豊かな発想の事業が今後も多く出てくる可能性が大きく、現状予算で引き続き内容の充実を図っていきたい。</p>
見直し・改善内容	<p>○市民グループからの企画提案数を増やす環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポスターやチラシでの周知の徹底 ・テーマを多く出してもらうための各課への働きかけ ・各課からのテーマ募集期間、団体からの企画提案の募集期間の検討 <p>○28年度実施事業分より、すべての事業が一年を通じて計画的に活動できるように、すぐする部門と翌年度部門の一本化を図った。</p>